

# 大学図書館問題研究会 京 都

URL : <http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/index.htm>

〒607-8175 京都市山科区大宅山田町 34 京都橘女子大学 企画調査課 田北十生気付

(Tel) 075-574-4112 (Fax) 075-574-4151

## 大図研京都

### 第24回京都支部総会にて会費改定!

支部費年間1,000円→2,000円に!  
 従って、大図研年会費5,000円と合わせて、2001年度分より7,000円の納入を御願いたします。  
 すでに2001年度会費納入をされている方は、追加の1,000円の納入をお手数ですが御願いたします。

**第5回 8月4日(土) →会場が変わります!**  
**会場→京都アスニー (詳しくは2page参照)**

#### 大図研京都セミナー2001

「ネットワーク環境下における図書館サービス」

●ホームページからも参加申し込みができます!

<http://www07.u-page.so-net.ne.jp/rg7/dtkk/occ.htm>



目次	第24回京都支部総会会費改定.....1頁
	大図研京都セミナー2001のご案内.....2頁
	大図研第24回京都支部総会報告.....3頁
	京都支部の決算報告・予算方針.....4頁
	支部財政監査報告/新支部委員.....7頁
	第3回セミナーアンケートの結果報告.....7頁
	お知らせ/第1回支部委員会報告.....8頁

ご意見・ご要望、投稿はメール、又はFAXで編集気付 (dkamr302@kyoto.zaq.ne.jp) takita まで

# 大図研京都セミナー2001

## 「ネットワーク環境下における図書館サービス」

### 第5回 研究発表

会場 **京都アスニー（京都市生涯学習総合センター）**

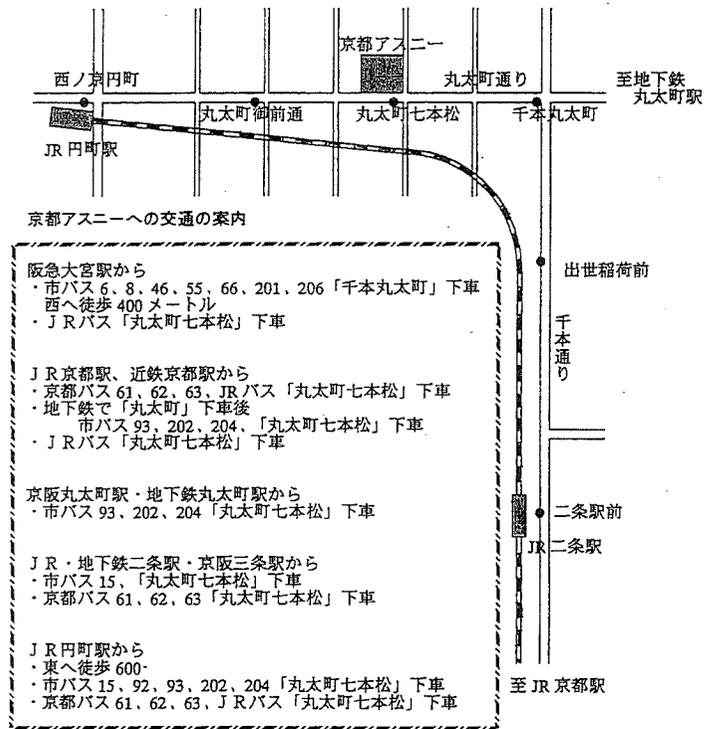
場所 京都市中京区丸太町通七本松西入 TEL 075-802-3141

日時 **8月4日午後2時～5時（午後6時～懇親会）**

### 発表テーマと発表者

1. 「主に女性研究者の改姓・旧姓とデータベースについて（仮称）」  
江上敏哲氏（京都大学附属図書館）
2. 「私立大学図書館におけるアウトソーシングの現状」  
木下祐子氏（立命館大学衣笠メディアサービス課）
3. 「標準化：ネットワーク環境を活かすために（仮称）」  
大綱浩一氏（国立情報学研究所開発・事業部アプリケーション課）

### 会場地図 交通機関



## 大学図書館問題研究会

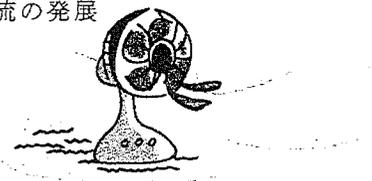
# 第24回京都支部総会報告

去る6月29日(金)午後7時よりキャンパスプラザで行われた支部総会は、すでに前号で、掲載の議案について審議し、原案通り決定をしました。以下は、議案書の項目および当日配布されたものです。(当日配布資料は、前号に掲載してませんの今回掲載します)

### [第1号議案]

#### 2000年度活動総括及び2001年度活動方針

1. 2000年度活動総括
  - (1) 大図研京都セミナー2001の開催と会員間交流の発展
  - (2) 支部報
  - (3) ホームページとメーリングリスト
  - (4) 組織活動
  - (5) 財政活動
  
2. 2001年度活動方針
  - (1) 研究活動のさらなる発展と会員間のコミュニケーションの重視
  - (2) 研究集会について
  - (3) 支部報について
  - (4) 会員を増やす活動
  - (5) 会費を全員が前納します。  
付：活動日誌



### [第2号議案] 2001年度より支部会費を年額2000円にする。

- 理由
1. 研究交流集会を充実するための財源を確保する。
  2. ホームページ維持費など新たな支出項目が増えている。
  3. 支部報の毎月発行を維持するための印刷費と郵送料を確保する。

#### 解説

支部の財政活動については、従来支部委員会でも重視して、会費納入率のアップに向けて全力を傾けて取り組むとともに、経費節減にも努めてきました。しかし、研修会、交流会の充実やホームページの維持など、支部活動を積極的に展開するための予算が現状では十分とはいえません。支部報についても、支部委員のいる職場では手渡して配布し郵送料を節約するなどぎりぎりの経費でやりくりしてきました。しかし、それにも限界があり、今後の支部活動の財政基盤を強固なものにするために、支部会費の改定を行いました。

### [第3号議案] 2000年度決算報告、2001年度予算及び会計監査報告

会費は  
見舞い  
◆上げます。

## 2000年度決算 (2000. 7-2001. 6) 2001. 7

総収入	総支出	差引残高
613,418	452,841	160,577

## 収入の部

項目	予算	決算	差引額	備考
前年度繰越金	161,698	161,698	0	
2000年度会費	144,500	137,700	6,800	81名
1999年度会費	17,000	10,200	6,800	6名
1998年度会費	0	3,400	Δ 3,400	2名
支部報購読会員	0	1,000	Δ 1,000	1名
支部活動援助金	10,000	10,000	0	
雑収入	0	10,420	Δ 10,420	利息・カンパ
セミナー参加費 (1,2回)	0	79,000	Δ 79,000	79人参加
懇親会参加費 (〃)	0	200,000	Δ 200,00	40人参加
合計	333,198	613,418	Δ 280,220	

## 支出の部

項目	予算	決算	差引額	備考
会報	50,000	42,330	7,670	
(内訳) 印刷費	10,000	2,940	7,060	
郵送費	40,000	39,390	610	
研究交流集会費	70,000	377,974	Δ 307,974	
(内訳)				
新春合同支部例会	20,000	0	20,000	
支部例会	20,000	350,159	Δ 330,159	支部セミナー
京都研究集会	20,000	20,000	0	(第1,2回)
支部総会	10,000	7,815	2,185	00.9.29
全国委員会参加補助	30,000	10,000	20,000	
事務費・通信費	10,000	4,537	5,463	
HP維持費	24,000	18,000	6,000	
予備費	148,198	0	148,198	
雑費	1,000	0	1,000	
合計	333,198	452,841	Δ 119,643	

2001年度予算

(2001. 7-2001. 6)

2001.7

## 収入の部

項 目	予 算	備 考
前年度繰越金	160,577	
2001年度会費	218,700	81名
未納会費	27,000	10名
支部活動援助金	10,000	
合 計	416,277	

## 支出の部

項 目	予 算	備 考
会報	50,000	
(内訳) 印刷費	10,000	
郵送費	40,000	
研究交流集会	212,000	
(内訳) 新春合同支部例会	20,000	
支部例会	20,000	
京都研究集会	20,000	
支部総会	10,000	
支部セミナー	142,000	
全国委員会参加補助	30,000	
事務費・通信費	10,000	
HP維持費	24,000	一ヶ月2,000
予 備 費	89,277	
雑 費	1,000	
合 計	416,277	

## 2000年度 特別事業基金

特別事業基金¥780,000について、2000年に支部報復刻版(CD-ROM)発行のため¥605,150を支出、残り¥174,850を次年度に繰り越す。



## 1 : 講演について

## 1.1 : 講演の時間

A. 適当… 17 B. 長すぎる… 1 C. 短すぎる… 0

## 1.2 : 講演内容

A. 期待以上… 4 B. 期待通り… 12 C. 期待はずれ… 1 D. その他… 1

コメント:

《期待はずれ》

実例を多く挙げてもらいたかった。

レジュメに参考文献や参考サイトなどのレファレンスが欲しかった。× 2

《その他》

予想していた内容とは違っていたが、質疑で得るところが多かった。

## 1.3 : 講演で興味深かったこと

《21世紀の大学像と大学図書館・情報リテラシー一般》

生涯学習と情報リテラシー教育の関係。

生涯教育に向けて実践すると図書館の利用者が劇的に変わるという指摘。

大学全体とのかかわりの中での情報リテラシー。

教官との協働の必要性。× 3人

卒業生への援助などの長期的視点。

情報通信技術の発展の中での司書の役割の変化について。

情報リテラシー教育への図書館のかかわり方。

自分の仕事について今後の方向性がつかめた。

21世紀の大学図書館像の予測が面白かったと質疑応答でいくつかの実例が聞けたこと。

《事例：CSU》

CSUと亜細亜大の例。

CSUの情報リテラシー教育について具体的に聞けたこと。

大学全体の中で情報リテラシー教育に取り組む点とアメリカですら教員にも情報リテラシー教育が必要なこと。

情報リテラシーの三段階法とカリキュラム作成時に図書館員が協力していること。

《事例：国内》

3大学図書館の実情説明。

日本の情報リテラシー教育。

## 1.4 : 質疑応答の時間について

A. 適当… 14 B. 長すぎる… 0 C. 短すぎる… 0 回答なし… 4

## 1.5 : 質疑応答の進行について

A. 良い… 14 B. 普通… 6 C. 悪い… 0 回答なし… 3

## 1.6 : 講師への質問

利用者に対してよりよいサービスを提供するためにどこで、どうやって情報リテラシーを身につけたらいいのだろうか。司書講習後も定期的に何か講習があったらいいのだが。

## II セミナーについて…回収中、回答一切なしが8人、裏面の回答は10人。

## 2.1 : セミナーを何で知ったか

A. メーリングリスト… 4 B. ホームページ… 4 C. 支部報… 2 D. 雑誌… 1  
E. ちらし… 1 F. 知人の進め… 2 G. その他… 2 (職場で)

## 2.2 : セミナーの開講形式について

A. 適当… 10 B. もう少し頻繁に… 0 C. もう少し間をあけて… 0  
D. 平日の5時以降… 0 E. 日曜日に開催… 0 E. その他… 0

## 2.3 : 興味のあるテーマ

A. 電子図書館… 4 B. 電子ジャーナル… 5 C. 資料の組織化… 3  
D. 資料の保存、修復… 3 E. 資料の電子化… 1 F. 著作権… 3 G. 職員問題… 4  
H. 図書館システム… 1 I. 図書館経営… 3 J. 情報リテラシー… 7  
K. 学術情報の流通… 0 L. 図書館の自由… 2 M. 障害者サービス… 2  
N. 利用者サービス… 6 O. 情報ネットワーク… 1

## 2.4 : 受講料について

A. 妥当… 9 B. 高すぎる… 0 C. 安すぎる… 0





日本図書館研究会より、「第1回国債図書館学セミナー」の京都支部報への掲載依頼がありましたので掲載いたします。

## 第1回 国際図書館学セミナー

主 催：日本図書館研究会/上海市図書館学会

と き：10月8日(出発：10月7日、帰国：10月10日)

ところ：中国・上海図書館

発表テーマ/発表予定者

(午前の部)

①日本の図書館-デジタル環境の変貌を中心に(日本図書館協会理事長/大阪教育大学附属図書館長 塩見 昇氏)

②上海図書館のデジタル図書館(上海図書館ネットワーク・センター主任)

(午後の部)

①日本における電子図書館の現状と課題-システム構築から学術情報流通環境提供へ(日本図書館研究会理事/大阪市立大学学術情報総合センター教授 北 克一氏)

②上海市文献資源共同ネットワークのVRD (Virtual Reference Desk)

(上海図書館ネットワーク・サービスセンター副主任 金 紅亜氏)

なお、10/9は近郊図書館見学または観光、10/10は上海図書館見学を予定

必要経費：約10万円(旅行代金など)

申込締切：9月1日

申込用紙(案内)請求/問合せ先：〒302-8203 京都市上京区今出川通烏丸東入ル

同志社大学文学部図書館学研究室 渡辺信一 TEL/FAX 075-251-3229

### 第1回京都支部委員会報告

日 時：2001年7月10日(火) 19:00 - 21:00  
場 所：京都大学附属図書館3Fスタッフラウンジ  
出 席：赤澤、井上、大館、金森、田北、呑海、吉田

#### 【報告事項】

1. 会員情報
2. 財政情報
3. その他

#### 【審議事項】

1. 支部委員任務分担について
2. 大図研京都セミナー2001について
  - (1) 第3回(6/23)のまとめ
  - (2) 第4回(7/14)の準備
  - (3) 第5回(8/4)個人研究発表者について  
報告者と準備の分担、会場変更の連絡、親睦会の会場
3. 9月以降の研修活動及び交流活動について  
どのような企画をするか  
1泊2日の見学・交流会→案 10/27(土)～10/28(日)神戸
4. 支部報について
  - (1) 8月号と9月号は合併して9月1日付けで発行する。